

日本地域経済学会 第19回豊田大会プログラム

日時・会場

日時:2007年12月1日(土)~2日(日)

会場:1日目:豊田市能楽堂 参合館8階 豊田市西町1丁目200番地 (名鉄豊田市駅 徒歩3分)

当初ご案内しました会場から変更になりました。ご注意ください

2日目:桜花学園大学栄キャンパスチェリープラザ O2ビル7階 名古屋市中区栄3丁目19-8

2007年12月1日(土)

理事会:11:30~13:30

13:30-16:30 地域公開シンポジウム

『豊田のまちづくりと観光 企業都市をこえて』 (後援:豊田市・豊田市観光協会)

13:30 豊田市観光協会歓迎セレモニー オカリナ演奏

13:50 地域公開シンポジウム 開会挨拶 日本地域経済学会会長 中村剛治郎

(総司会)日本地域経済学会理事長 岡田知弘

[パネリスト]

鈴木公平(豊田市長):『豊田市第7次総合計画と観光の位置づけ』

田中三文(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)):『産業観光とまちづくり』

森川敏育(桜花学園大学観光総合研究所所長):『観光まちづくりの課題』

山崎丈夫(愛知学泉大学コミュニティ政策学部教授):『地域内分権と『観光交流都市づくり』』

コーディネータ:森田優己(桜花学園大学)

総会:16:40~17:30

懇親会:17:40~19:30 産業文化センター 1F レストラン会費5000円

12月2日(日)

自由論題:2分科会(9:15~12:00)

(第1分科会)

植田洋(日本福祉大学):『雇用保障型世界都市~スウェーデン・イエテボリコミュニティの都市経済と都市経営』

長山宗広(駒澤大学):『浜松地域におけるスピノフ企業家の集中的発生のメカニズム』

西野勝明(財団法人静岡総合研究機構):『浜松の産業集積の発展経路と政策への含意』

白川展之(県立広島大学):『日本におけるイノベーション政策の隆盛と地域科学技術振興施策』

~地域科学技術は内発的発展のエンジンたりうるか?また、第二の公共事業か?~

宇都宮千穂(京都大学大学院):『企業都市形成と生活空間』

(第2分科会)

榎平龍宏(農政調査委員会):『周辺地域における農業関連産業を核とした地域産業発展の課題 - 島根県江の川流域の事例を中心に -』

後藤宣代(福島県立医科大学非常勤):『地域再生と男女共同参画 『男女共同参画・全国最下位』福島県の取り組み』

根岸裕孝(宮崎大学):『市町村合併に伴う商工会の合併・再編と今後の展望』

梅原浩次郎(愛知産業大学(非常勤講師)):『大都市の自治体政策の特徴 - 名古屋市を中心に -』

榊原雄一郎(関西大学)・南保勝(福井県立大学): 経済のグローバル化と鯖江産地の構造変化

共通論題シンポジウム: 『地域経済の活性化と少子化・格差問題』(13:00~16:30)

趣旨: 小都市や農山村では人口減少と少子高齢化が急速に進み、人口が集中している東京圏でも出生率が劇的に低下している。また、グローバル競争や規制緩和の結果として不安定雇用が増加し、若年層での結婚や育児を難しくしている。個人、家族やコミュニティの経済的・社会的な機能剥奪は、長期的な視点でみた地域経済のサステナビリティを損なっているのではないだろうか。

一方、文化や福祉など新しいサービスの創出や、農業なども含めた地域産業の振興、就労と職業訓練、ジェンダー間の平等、格差の是正とセーフティネットの確保、創業のチャンスなど、地域経済政策やまちづくりを通じた実証と問題提起が必要ではないかと考える。今回はこうした新しいテーマを巡って、さまざまな分野、アプローチからの報告を求めたい。

【報告者】

- ・小田 清(北海学園大学): 地域間格差問題と地域経済の活性化 北海道の視点から
- ・中澤高志(大分大学): 晩婚化・非婚化、少子化の進展と両立支援としての在宅就業 労働の地理学の視点から
- ・井内尚樹(名城大学): 「元氣」名古屋の光と影 地域経済の活性化をどう考えるか

【コーディネータ・趣旨説明】

- ・富樫幸一(岐阜大学)・岡田知弘(京都大学)